

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ 腰部脊柱管狭窄症の患者の活動量や ADL 等に関する研究	
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 リハビリテーション科 部長（研究責任者）新見 昌央	
＜研究期間＞ 機関の長の初回許可日 ～ 令和 11（西暦 2029）年 3 月 31 日	
＜対象となる方＞ 西暦 2023 年 1 月 1 日～西暦 2028 年 3 月 31 日の期間に整形外科で腰部脊柱管狭窄症の手術を受けて、かつリハビリテーション科でリハビリテーションを受けた 65 歳以上の方を対象とします。ただし、後述する評価項目の評価ができなかった方や研究の参加にあたり拒否をされた方は含みません。	
＜研究の目的＞ 腰部脊柱管狭窄症の患者さんが、手術を受けられる前と後で、どれくらい日常生活で活動ができているかを調べます。また、活動性が低い場合にその原因が何かを調べます。	
＜研究の方法＞ 整形外科やリハビリテーション科で診療をした際の記録や検査結果をもとに統計学的解析を行います。	
＜研究に用いる試料・情報の項目＞ 活動度（万歩計やスマートフォン、スマートウォッチといった活動量計によって測定できる歩数、Met s、身体活動量といったデータ）、質問紙、身体診察の結果、血液検査（Alb、TP、Chol、Hb、ALD、CK）、X 線検査、CT 検査、骨密度検査、InBody（骨格筋量、骨格筋指数、Phase angle）を用います。	
＜お問い合わせ窓口＞日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1） リハビリテーション科 氏名：中尾 航 電話：03-3972-8111 内線：（医局）2231 （PHS）8092	

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方